

CHAUSSON CHAMBER MUSIC

POEM & CONCERT

2025 **6/13** (Fri)

ショーソン ポエム&コンセール 室内楽演奏会



Solo Violin /
Chie Morimoto



Solo Piano /
Chikako Kojima



Violin / Mayumi Birmann



Viola / Yukine Hasegawa



Piano / Masako Muneyuki



Violin / Yukiko Mori



Cello / Yuki Nomura

電気文化会館

2025年**6月13日**(金)

ザ・コンサートホール

13:30 開演(13:00開場)

入場料 一般/3500円 学生/ 1000円

[演奏曲目] ショーソン作曲 ポエム 作品25 (Solo Vn & Pf.Quintet)

コンセール 二長調 作品21 (Solo Pf. Vn. & St.Quartet) *

チケット / アイ・チケット 0570-00-5310

芸文プレイガイド 052-972-0430

主催/ ショーソン演奏会実行委員会

お問い合わせ / PANアートカンパニー 052-781-7412

Profile 出演者プロフィール



Violin/森本千絵(もりもと ちえ)

京都市立芸術大学音楽学部卒業。名フィルを経てロンドンに留学。(故)イフラ・ニーマンに師事。英国王立音楽大学演奏家資格取得。1993年「リサイタル・オブ・ザ・イヤヤー」(朝日新聞),電文「ザ・アンコール'96」,名古屋市文化振興事業団「新進演奏家海外研修助成対象者」(欧州5カ国にて研修)などに選ばれる。これまでに「音楽の友」など各誌面で高い評価を得る。国内外で多数演奏。2003年から10年間「朝の室内楽シリーズ」(電文共催)主催。森本千絵Vn.小品集CD全国リリース。名フィルと協奏曲を度々共演。2014年「ベートーヴェンVn.ソナタ全曲演奏会」を開催。2017年より毎年シェボーン(英)夏期音楽講習会に招聘されている。弦楽トリオ&アンサンブル・クレセント・メンバー。名古屋と札幌を拠点に演奏活動、後進の指導にもあたる。

Piano/小島千加子(こじま ちかこ)

愛知県立芸術大学大学院博士前期課程修了。在学中より度々渡米、ヴィタリー・マルグリシ氏のもとで研鑽を積んだ。これまでに多数のリサイタル、オーケストラとの協奏曲共演等ソリストとしての活動のほか、室内楽奏者としても精力的に活動、各種リサイタルの共演ピアニストも務める。2017年よりMusicasa Tsuchikaneアンサンブルシリーズを開始。テーマに基づくプログラムとアカデミックかつ親しみやすい解説を交えたコンサートは毎回好評を得ている。2025年2月にはベートーヴェンの室内楽シリーズにおいてヴァイオリン・ソナタ全10曲及びピアノ三重奏曲全曲を完遂。2020-2021年愛知県立芸術大学非常勤講師。日本ソルフェージュ研究協議会正会員。愛知県音楽研究会会員。



Violin/ビルマン良弓光(ビルマンまゆみ)

桐朋学園大学音楽卒業。兵庫芸術文化センター管弦楽団メンバー、大阪交響楽団2nd副主席を経て、現在は名古屋と関西を拠点に、室内楽、ソロ、オーケストラの客演など活動する他、後進の指導にも力を入れている。ベートーヴェン室内楽シリーズではヴァイオリン・ソナタ全10曲とピアノトリオのプログラムを展開中。Quartet Loquiメンバー、Lebe in Musicメンバー。Atrier de Music主宰。名古屋市立菊里高等学校音楽科非常勤講師。



Violin/森由紀子(もり ゆきこ)

愛知県立明和高校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部器楽科卒業。卒業後渡独、バイエルン州立ビュルツブルク音楽大学、ロストック音楽・演劇大学大学院にて引き続き研鑽を積む。カッセル州立歌劇場研修生、ニュルンベルク州立歌劇場アカデミー生を経て契約団員として活動。これまでにヴァイオリンを庄司操、佐々木はるる、四方恭子、ギオルギ・バブアゼ、朝枝信彦、エアンスト・トリナー、シュテファン・ヘンペル各氏に師事。またマスタークラスにてジュリアードカルテットの(故)トマス・ブランディス氏に師事。現在札幌在住。室内楽やオーケストラでの演奏活動に加え後進の指導にあたる。



Viola/長谷川雪音(はせがわ ゆきね)

岐阜県出身。5歳よりヴァイオリンを始め20歳でヴィオラに転向。岐阜県立加納高等学校音楽科を経て、名古屋音楽大学弦楽コース卒業。同大学研究生修了。第21回「万里の長城杯」国際音楽コンクールアンサンブル部門大学の部優秀賞。第29回日本クラシック音楽コンクール室内楽部門全国大会出場。大学在学中、オーディションに選拔され室内楽コンサートに出演。これまでにヴァイオリンを安部奈々恵、岩崎能子、加藤二葉の各氏に、ヴィオラを百武由紀氏に、室内楽を古井麻美子氏に師事。現在オーケストラや室内楽の演奏活動、後進の指導にあっている。

Cello/野村友紀(のむら ゆき)

京都市立芸術大学卒業後渡独、カールスルーエ音楽大学に入学。ディプロム取得後、室内楽コースにて最高点で国家演奏家資格を取得。在独中はカールスルーエ、マンハイム両国立歌劇場に在籍。これまでに、吉田顕、河野文昭、上村昇、M.オスタータークの各氏に室内楽をW.ヤーン、フォーレ・カルテットに師事。現在、ソロ、室内楽奏者として、また愛知県立芸術大学及び名古屋市立菊里高等学校、椋山女学園大学非常勤講師として後進の指導にあたる。カルテットSAY、Quartet Loqui、音楽クラコ座メンバー。



Piano/宗行晶子(むねゆき まさこ)

大阪府出身。京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業。なにわ芸術祭新進音楽家競演会にて新人賞、大阪府知事賞、大阪市長賞を受賞。日本ショパン協会関西支部推薦による「ショパンの夕べ」に出演。2015/19/23に新城吹奏楽団とピアノ協奏曲を共演。ピアノを江崎皓介、田原富子、佐藤千子の各氏に師事。現在、愛知県を中心にソロやアンサンブルで幅広いジャンルでの演奏活動を行う傍ら、豊橋市の自宅でピアノ教室を主宰して後進の指導にあっている。

